

2022年11月9日(水) 山陽新聞 [第1全県]

脳卒中の予防法解説 協会県支部が公開講座配信

日本脳卒中協会県支部は、脳卒中の予防法などを紹介するオンライン公開講座を配信している。

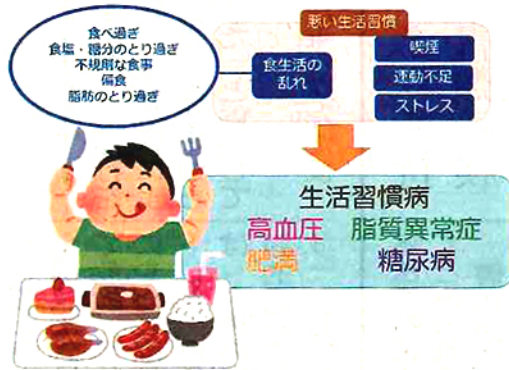
講座の動画は計5本で、それぞれ9〜14分。川崎医科大学(倉敷市)の医師や看護師ら5人が講師を務めている。

「脳卒中の予防〜日常生活上での注意点〜」の講師は、川崎医科大学付属病院(同)の看護師繁永美栄子さん。若い世代でも脳の血管が詰まったり、破れたりして脳が障害を受ける脳卒中患者が増えていることを説明。「禁煙や1日30分以上の運動などが予防に効果的。塩分も控えた方がいい」などと解説している。

他の動画では、血管に詰まった血栓を薬で溶かす脳梗塞の治療法や、県内では年間5千〜6千人が脳卒中を発症していることなどを伝えている。

同協会が2021年度に定めた「脳卒中月間」(10月)の一環として制作、配信している。視聴期限はない。(黒瀬空)

脳卒中の危険因子



脳卒中をテーマにしたオンライン公開講座の一場面